

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた視点から指導案を作成してください。

小学校 外国語活動・外国語科
中学校 外国語科

3・4学年は「外国語活動指導案」

第〇学年 外国語活動/外国語科学習指導案

【参考資料】
 (1) 学習指導要領解説 (H29 7月)
 (2) 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(案)』(R1 11月)
 (3) 学習評価在り方ハンドブック (R元 6月)

令和 年 月 日 校時
 〇〇学校 年 組 名
 指導者 〇〇〇
 (T2 〇〇〇)

ALT/小中一貫コーディネーター等も記載

1 単元名 Unit 〇 〇〇〇〇〇〇〇. 『Blue Sky 〇』p.〇〇～p.〇〇

2 単元の目標

- (1) 各単元で取り扱う題材,言語活動の特徴やきまりに関する事項(言語材料),当該単元の中心となる言語活動において設定するコミュニケーションを行う目的や場面,状況など,また取り扱う話題などに即して設定する。
- (2) (知識及び技能)
- (3) (思考力、判断力、表現力等)
- (4) (学びに向かう力、人間性等)

3 単元について

(1) 教材観

- ・学習指導要領のどの内容を受けて設定した単元(題材)なのかを明確にする。
 例(中) 本単元は,学習指導要領第2学年の内容「(1)英語の特徴やきまりに関する事項」の「f 形容詞や副詞を用いた比較表現」を取り扱い,相手に応じて「説明する」という言語の動きを意識させながら…
- ・本単元で身に付けさせたい資質・能力について考察する。
 例(小) 児童はこれまで外国語活動でアルファベットに慣れ親しんできたが,1つの単語として文字を捉え,意味のある言葉として学習することは初めてである。そこで本単元では,「音読み」でアルファベットの持つ音に慣れ親しみながら,単語を意味あることばとして認識できるようにする。
- ・特に,小学校で経験した言語材料や言語活動がある場合には,明記する。
 例(中) 自分の名前・好きなこと,もの・得意なことなど,自己紹介の表現については,小学校外国語科でも慣れ親しんでおり…

(2) 児童(生徒)観

- ・本単元の学習に直接かかわる児童生徒の実態を考察する。情意面におけるアンケートや,各種テスト結果等をグラフや表でまとめて分析・考察をする。
- ・「主体的に取り組む態度」は,自らの学習状況を把握し,学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら,学ぼうとしているかどうかという意識的な側面を評価する。授業時の挙手の回数や提出物の提出率といった側面だけで見取るものではない。
- ・日頃の観察を含めて,児童生徒の状況を本単元の目標に照らし合わせて実態を考察する。
- ・これまでの学習で身に付いている資質・能力や不十分な点についても記載する。

(3) 指導観

- ・「教材観」と「児童(生徒)観」から,この単元全体・本時の学習内容をどう指導していくかを記述する。
- ・本時で行う主な言語活動について説明する。
- ・「教材の系統性」について,本単元に関わる前後(前学年,後学年)の内容を明らかにし,これまでの学習で身に付けてきた力や,これから身に付けさせたい力を系統的に示す。

4 単元の評価規準例

『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料(案)第3編を参照

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>〈知識〉 月日の言い方や,I like/want~. Do you like/want~? What do you like/want? When is your birthday?, その答え方について理解している。</p> <p>〈技能〉 誕生日や好きなもの,欲しいものなど,具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>相手のことをよく知るために,誕生日や好きなもの,欲しいものなど,相手の話を聞き取っている。</p>	<p>相手のことをよく知るために,誕生日や好きなもの,欲しいものなどについて,短い話の概要を捉えている。</p>
聞くこと		<p>知識・技能 言語材料 〈知識〉 月日の言い方や,I like/want~. Do you like/want~? What do you like/want~? When is your birthday?, その答え方について理解している。</p> <p>事柄・話題 〈技能〉 誕生日や好きなもの,欲しいものなどを聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>思考・判断・表現 目的等 相手のことをよく知るために,誕生日や好きなもの,欲しいものなどについて,短い話の概要を捉えている。</p> <p>事柄・話題</p>
			<p>主体的に取り組む態度 目的等 相手のことをよく知るために,誕生日や好きなもの,欲しいものなどについて,短い話の概要を捉えようとしている。</p> <p>事柄・話題</p>

5領域のうち,主に本単元で見取る領域を記述する。複数も可。

・単元の第1時では「主体的に取り組む態度」を見取ることは望ましくない。
 ・どの観点において、どの領域を見取るのかを示す。
 ・「指導に生かす評価」に関しても学習状況を把握する場面,方法について簡単に記述する。

5 単元の指導と評価の計画 (全○時間)

時	◆目標 (ねらい) ○主な活動等	評 価			
		知・技	思判表	態 度	評価規準・方法等
1	◆月・日付の言い方を知る。また,アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。 ○ミッシングゲーム ○Let's read and write ○Sounds and letters				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ここでは,記録に残す評価は行わないが,目標に向けて指導を行う。児童の学習を記録に残さない活動や時間においても,教師が児童の学習状況を把握する。 </div> 行動観察 振り返りシート
2	◆月・日付の言い方に慣れ親しむ。また,アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。 ○ミッシングゲーム ○Let's read and write ○Sounds and letters		聞くこと ○	聞くこと ○	
3 本時	◆誕生日や好きなもの,欲しいものを聞き取ったり,それらについて訪ねたり答えたりして伝え合ったりすることができる。また,アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。 ○ミッシングゲーム ○カードを作ろう ○Sounds and letters		聞くこと ◎	聞くこと ◎	◎相手のことをよく知るために,誕生日などについて短い話を聞いて,具体的な情報を聞き取っている。 〈行動観察・テキスト記述分析〉 ◎相手のことをよく知るために,誕生日などについて短い話を聞いて,具体的な情報を聞き取ろうとしている。 〈行動観察・テキスト記述分析〉
⋮	中学校のみ記載				
8	Lesson 5 単元テスト パフォーマンステスト 英作文	書くこと ◎	書くこと ◎	書くこと ◎	

◎記録に残す評価 ○指導に生かす評価 (形成的評価) ※領域も記載する

6 単元末または学期末におけるパフォーマンステストとそのルーブリック ※中学校のみ記載,小学校は削除

「話すこと」または「書くこと」のパフォーマンステスト,評価にかかるルーブリック,生徒の発話例筆記例 (英文) を示す。

参考例) 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』 p. 52 より抜粋

(1) パフォーマンステスト
 例) 「話すこと (やり取り)」 「AI の進歩と私たちの生活に関する記事を読み, 読んだことに基づいて考えてことや感じたこと, その理由などを伝え合う。」

(2) ルーブリック
 例) 条件1: 読んだ英文を引用するなどしている
 条件2: 自分の考えたことや感じたことなどを理由とともに述べている。
 条件3: 相手の考えを求めたり, 話題を広げたりしながら対話を継続している。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	自分の考えを詳しく述べたり, 効果的に引用したりしながら, 3つの条件を満たしてやり取りしている。	自分の考えを詳しく述べたり, 効果的に引用したりしながら, 3つの条件を満たしてやり取りしようとしている。
b	誤りが一部あるが, コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	3つの条件を満たしてやり取りしている。	3つの条件を満たしてやり取りしようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

7 本時の学習 【○/○時間】

(1) 目標

- ・「5 単元の指導と評価の計画」を踏まえて、具体的に記述する。
- ・児童生徒に身に付けて欲しい事柄を「目的・場面・状況」を踏まえた上で、具体的に記述する。

(2) 本時の授業の工夫

- ① 本時の授業のどこで、どのような指導に在り方や方法を提案しようとしているのか、学習指導要領を踏まえて簡潔にまとめる。
- ② 言語活動における指導の工夫を明記する。

(3) 展開例（第○時）

	学習活動	○ 指導上の留意点 ★ 予想される児童生徒の反応	評価項目（方法）
導入 分	1 Greetings, 帯活動 (小) Warm up Chants Small Talk (中) 3minutes conversation など 2 前時の復習(Review)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒にとって必然性のある課題を提示する。 ・「目的・場面・状況」を具体的に設定する。 ・この表現や既習文法を使って、何ができるようになるかの視点を以って「めあて」を立てる。 	
展開 分	3 めあての確認 4 ① Activity 1 ② Activity 2 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 個人での思考 ↓ ペアやグループでの対話活動 ↓ 表現活動 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;"> Today's Goal </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;"> 〈予想される児童（生徒）の発話例〉 生徒同士や教師と児童（生徒）の発話例を具体的に示す。 〈言語活動〉 ・「目的・場面・状況」を明確に設定する。 ・自分の意見や感想等を話し合ったり書いたりする場面を設定する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 【留意点】 本時が「記録に残す評価」を行わない場合でも、目標に向けて児童生徒の学習状況を確認するための評価基準と方法を設定し、記述する。 </div> <p>【努力を要する状況と判断される児童（生徒）への支援】</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;"> 評価規準については、「概ね満足できる姿」（観点別評価B）を、評価する場面の欄に記載する。（○内は評価方法。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 【思判表】 友達の意見を踏まえた自分の感想を5文程度で書くことができる。（行動観察, ワークシート） </div>
終末 分	5 まとめ 6 振り返り	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;"> まとめ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 1日1文等、簡単な英語を使って「まとめ」や「振り返り」をさせる工夫をする。 </div>	

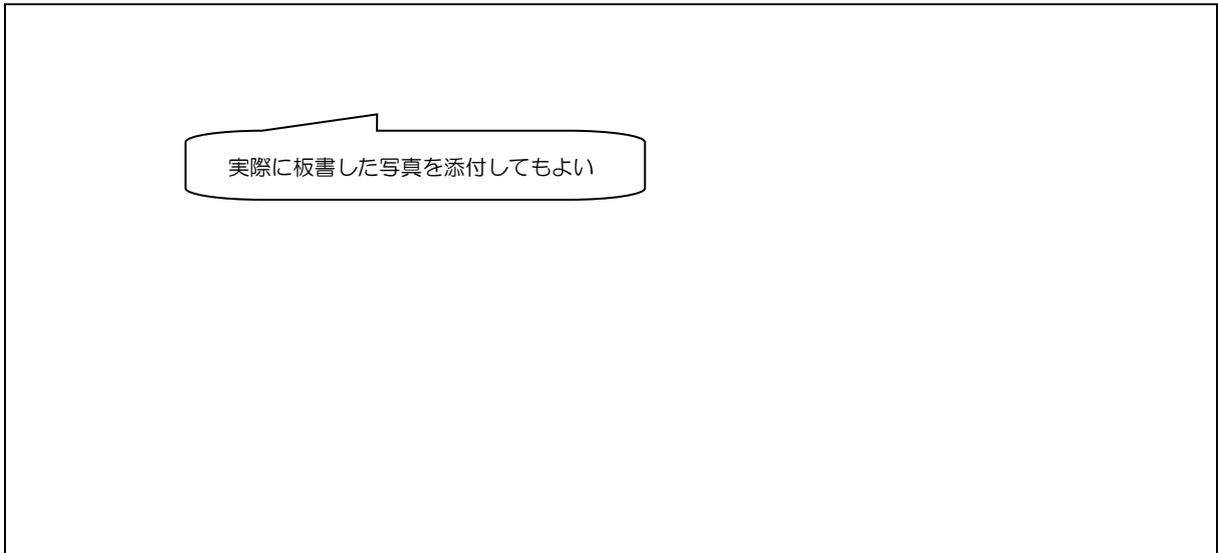
- ・児童生徒のことは生かしてまとめる。
 (中) 簡単な英語でまとめをさせる。
- ・(中) 簡単な英語で振り返らせ、自己評価をさせる。

【参考】外国語科における「問い」を生かした授業（～R4『問い』が生まれる授業サポートガイド～より）

「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を働かせ、日常的话题や社会的な話題について、自分の考え、気持ちなどを、トピック作文、電子メールのやり取り、ディスカッション、ミニディベート等で伝え合ったり、表現したり

することを通して、必要な単語やフレーズの確認をする。つまり「活用」と「指導」がスパイラルに循環する授業を展開することが大切。

(4) 板書計画



実際に板書した写真を添付してもよい